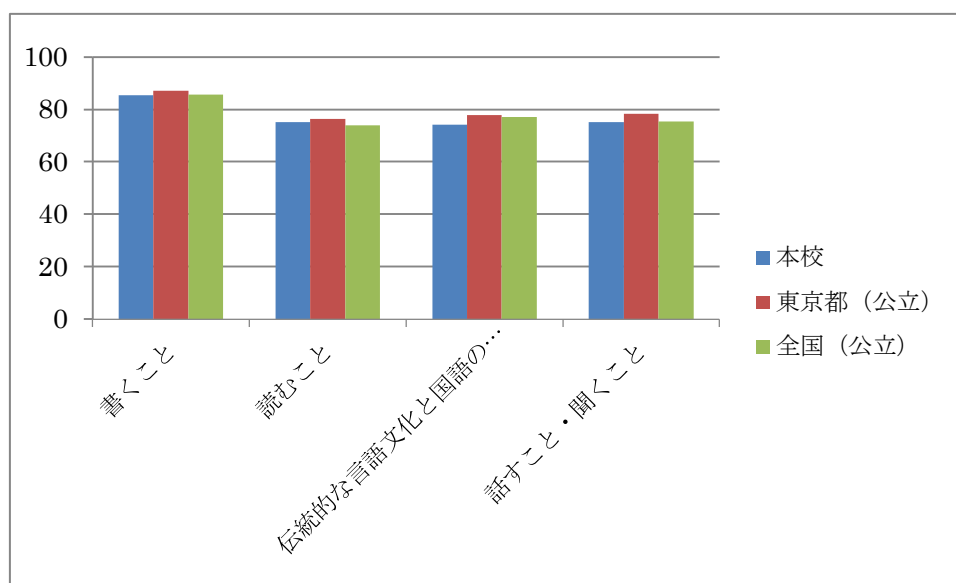


国語（全国学力・学習状況調査）

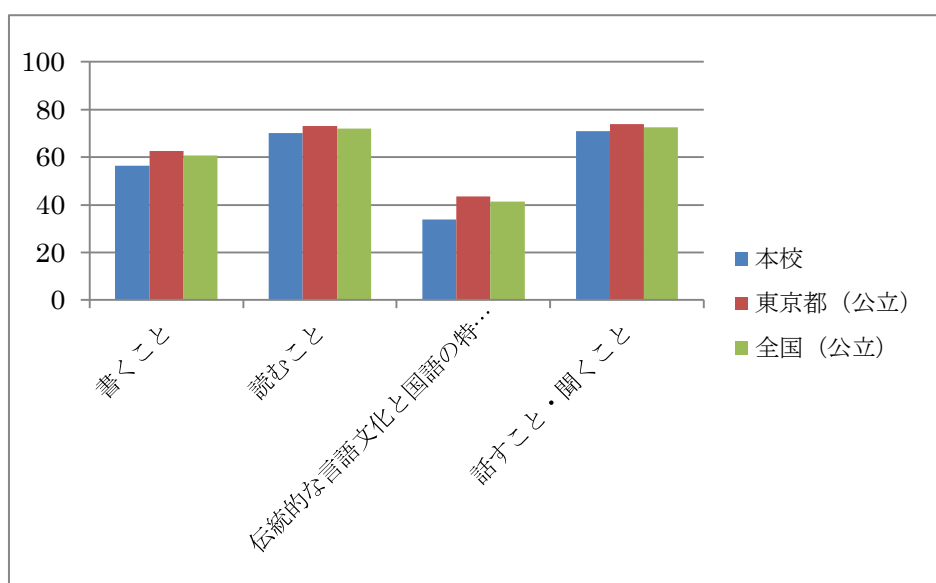
1. 分類ごとの平均正答率

(1) 国語A：主として知識



- ① 「読むこと」は、全国の平均正答率を上回っている。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国との差が大きく、指導の改善が必要である。

(2) 国語B：主として活用



- ① 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」と「書くこと」の項目が、全国の平均正答率との差が大きかった。

2. 調査問題から見た課題等

(1) 書くこと

- ① 根拠を明確にして、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

(2) 読むこと

- ① 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解できる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ① 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、課題がある。
- ② 行書の特徴を理解したり、楷書との違いを理解したりすることに課題がある。

(4) 話すこと・聞くこと

- ① 目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができる。

3. 指導改善のポイント

(1) 書くこと

- ① 作文の際に条件を提示する。
- ② 新聞記事などを活用し、自分の意見を具体的に書かせる。

(2) 読むこと

- ① 文章の読み取りを授業の中で頻繁に取り組んでいく。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ① ことわざや慣用句については、国語辞典や資料集で意味を確認するとともに、具体的に使用例を考えるなどの学習をする。
- ② 書写の指導では、楷書と行書のそれぞれの特徴について理解することができるように指導する。

(4) 話すこと・聞くこと

- ① スピーチをする際には、自分の伝えたいことが十分に伝わる内容や表現の仕方になっているかを考えて話すように指導する。